

# 看護師とコメディカルスタッフのための 社会精神医学セミナー

—うつ病と双極性障害における薬物療法と看護のポイント—

日時

2016年 **7月16日** (土)  
午前 **10時**～午後 **1時**  
(受付 9時30分)

場所

**AP 品川 10 階**

講演

**渡邊 衡一郎** 日本社会精神医学会理事  
杏林大学医学部精神神経科学教室教授

「気分障害の治療における薬物療法の流れ」  
「最近注目される副作用（催奇形性を含む）」  
—チェックポイントと対処法—

**菊地 俊暁** 杏林大学医学部精神神経科学教室講師

「薬物療法で良くならない患者への対応」  
「多剤併用処方 of 整理の仕方」

**渡邊 衡一郎**

「アドヒアランス向上のための取り組み」  
—Shared Decision Making の手法を取り入れて—

定員  
**200**名

申込方法

申込用紙に必要事項を記入の上、メール又はFAXにてご送付下さい。  
Email: webmaster@jssp.info FAX: 03-3462-1185

参加費

非会員  
**4,000**円

会員  
**2,000**円

学生  
**1,000**円

主催

一般社団法人 日本社会精神医学会

問合せ

日本社会精神医学会 HP <http://www.jssp.info/>  
日本社会精神医学会事務局 [webmaster@jssp.info](mailto:webmaster@jssp.info)

日本社会精神医学会

# 看護師とコメディカルスタッフのための 社会精神医学セミナー

—うつ病と双極性障害における薬物療法と看護のポイント—

うつ病は、2020年にはあらゆる疾患の中で2番目に経済的に打撃を与えることが予想されている。同じうつを呈するものの、うつ病と双極性障害への対応は全く異なる。いずれの治療も薬物療法が中核となるが、ここ数年で新薬が発表され、薬物療法の考えも変化してきている。本セミナーでは、副作用、そしてそのチェックポイント、また催奇形性について最新の情報を提供し、難治例への取り組み方、さらにはアドヒアランス改善に向けての新しい治療方針決定法 Shared Decision Making (SDM) も取り上げたい。参加型のセミナーにしたいと考えており、薬物療法に関する理解をより深めていただきたい。

会 期：平成 28 年 7 月 16 日 (土) 10:00~13:00

会 場：AP 品川 10 階

講 師：渡邊 衡一郎 (日本社会精神医学会理事)  
(杏林大学医学部精神神経科学教室教授)

菊地 俊暁 (杏林大学医学部精神神経科学教室講師)

募集人員：200 名

参加費：会員 2000 円 非会員 4000 円 学生 1000 円

申込締め切り：定員に達ししだい締め切ります

申込・問合せ：日本社会精神医学会事務局 (大河内)

FAX：03-3462-1185 TEL：03-3462-1184

Email：webmaster@jssp.info

参加申込書 (フォーマット)

ご氏名 (ふりがな)

ご所属

連絡先

住所

TEL：

E-mail：